

事業所名

くじらかん

支援プログラム

作成日

7年

3月

13日

法人(事業所)理念	子ども達、一人一人の個性や特性を理解し、子どもが自信をもって生きるチカラを身につける場所として…。まさに大温泉で自由に生きるくじらのように伸び伸びと育ってほしいと願っています。				
支援方針	①自分や他者を好きになるチカラ②色んなことを5感で感じるチカラ③言葉など自分の思いを表出できる力④他者と共感する力⑤健康な心と身体をつくる力⑥豊かな経験を通し成功体験を備へ自分の魅力を引き出す力⑦あきらめずにチャレンジする力⑧自由に自分らしく生きるチカラ ⑨つの子カラを育てる支援をします				
営業時間	9時	0分	18時	0分	送迎実施の有無 あり
支 援 内 容					
本人支援	健康・生活	主に健康的な生活を送れることを目的とし、それらのために種々の支援を組み合わせて支援を行う。具体的な支援として、特定の時間を療育活動と設定し、スケジュール通り行動することを学ぶ。クッキングなどの活動から、より多くの食品に触れ、好き嫌いを軽減しつつ生活を豊かにすることを図る。身の回りの整容を学べるように、片付けや手洗いなどを習慣づけられるよう支援を行う。			
	運動・感覚	身体の運動機能を強化する事によって、日常生活を拡充することを目的として支援を行う。具体的な支援として園庭や室内用具、教具を使用した遊びを通して、身体を大きく動かす粗大運動を向上させつつ、手先の療育用具、工作やクッキングから微細運動への支援を行う。またいずれの運動機能においても、段階的に身につけられるよう個々に適したプログラムを策定し支援を行う。			
	認知・行動	対象や外部環境の適切な認知と適切な行動の習得を目的し、種々の支援方法を組み合わせて提供する。具体的な支援として集団で外出や活動を行い、外出や集団でのルールや行動を学び、その中から集団で過ごすための情緒の安定を学べるよう、スタッフからの声掛けなどの支援を行う。また活動において成功体験だけでなく失敗体験も積ませることで、失敗に対して対応できるより柔軟なところを身につけられるよう支援を行う。			
	言語 コミュニケーション	コミュニケーションの基礎的能力の向上を行い、結果として様々な状況に対応できるようコミュニケーション力を身につけられるよう支援を行う。具体的な支援として他の児童との関わりを持てるように活動は集団で行い、適切な言葉遣いやコミュニケーションを学べるよう、運営スタッフの言葉かけを行う。			
	人間関係 社会性	遊びを通じて社会性の発達を促し、仲間づくりと集団への参加を目標し支援を行う。具体的な支援として、種々の活動は集団で行い、他の児童とのコミュニケーションを取れるような環境を準備し、その上でスタッフが介入しながら、人間関係の取り方などを学べるようにする。また遊びの中にスタッフが適宜介入しながら、適切な人間関係が学べるよう支援を行う。			
家族支援	保護者様の子育てに関する悩みなどに関して、事業所での様子などの情報交換と、それらを踏まえたうえでの助言・相談を行う。兄弟児の悩み等に耳を傾け、解決できるよう助言・相談を行う。	移行支援	ライフステージの切替えを見据えた将来的な移行に向けた準備としての支援を行う。何事においても自己選択、自己決定が行えるように支援を行う。		
地域支援・地域連携	将来的に子どもたちが地域で生活する上で、より生きやすい社会を作ることを目標とした包括的な支援を行う。定期的に地域のごみ拾いを行う・地域住民参加型のイベントを利用児が企画、運営し、地域の方々に喜んでもらえる経験を通し地域の一員としての自覚を養う。	職員の質の向上	必要に応じて公的な外部研修に参加し、それらの内容を社内のスタッフに伝達する社内研修を併用しながら、スタッフの知識と技術の向上を図る。		
主な行事等	季節の移り変わりを感じられるように、各季節に沿ったイベントを開催する。1月：餅つき 2月：節分 3月：温泉遠足 4月：花見 5月：こども祭り 6月：保護者会 7月：水遊び 8月：夏祭り 9月：防災強化訓練 10月：ハロウィン 11月：運動会 12月クリスマス会。【親子教室：月1回 遊具訓練：月1回 書道：月2回 ボクシング教室：月1回 クッキング(遠慮)】また単一の事業所だけでなく、可能な限り複数の事業所で協力してイベントを開催し、あまり接することのない利用者同士の間わりが際立つ機会を用意する。				